

# 菟田野小だより「桜梅桃李」

No.22

令和4年 12月16日(金)

(<http://www.utano-e.ed.city.uda.nara.jp/>)

## 読み聞かせて、しなきゃダメ?

12月6日(火)の朝タイムに先生方による絵本の読み聞かせ：お話フェスティバルを行いました。子どもたちが7つの絵本コーナーに分かれて、先生のおすすめ絵本を聞きました。「じごくのラーメンや」「ハコちゃんのはこ」など、今回も様々なジャンルの絵本が紹介されました。



文字を追うのが苦手な子も、読み聞かせなら集中して聞いています。ただ、家庭では時間や体力に限りもあり、なかなか思うようにいかないこともあるでしょう。また、読み聞かせを義務のように感じてしまっただけでは、大人も子どもも楽しくありません。

絵本評論家で作家の広松由希子さんは、「絵本にほとんど興味が向かない子もいます。幼い子どもには、大人の気持ちがうつるものです。大人が楽しい気分で読めるときに読めたらいいんじゃないでしょうか。『毎日読まなきゃ』じゃなくて、『今日は面倒』と思ったら、無理せず休んだらいいんです。」と語ります。とはいえ、読み聞かせの効果は広く認められるところ。自分が好きだと思える本を選んで、無理のないペースで読んであげてください。



(5年生の作品)

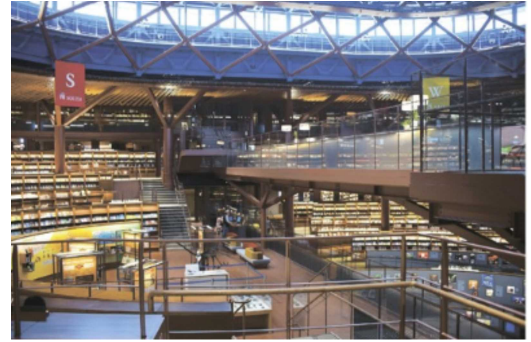


(6年生の作品)

## ニッポン図鑑【図書館】

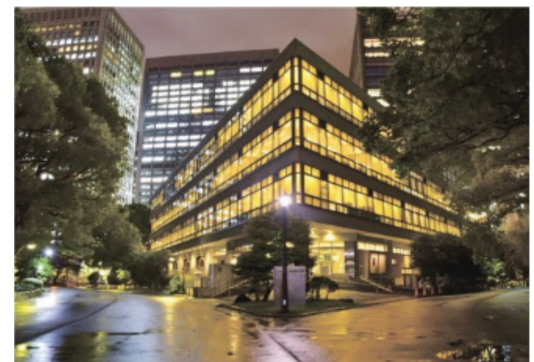
日本各地の図書館の中から、居心地のいい空間とユニークな外観をもつ図書館を紹介します。

### 【石川県立図書館】



4階まで吹き抜けになっており、円形閲覧空間には、「世界に飛び出す」「生き方に学ぶ」など12のテーマに沿った本が並んでいます。一方、外観のデザインは、「本のページをめくる」イメージがモチーフです。

### 【日比谷図書文化館】



日比谷公園の中で、ひととき目を引く“とがった”建物です。1908年に「東京市立日比谷図書館」として開館以来、100年を超える歴史を誇ります。現在は展示や講座も行う複合文化施設になっています。

### 【男木島図書館】



高松港からフェリーで40分。瀬戸内国際芸術祭でにぎわう男木島(おぎしま)にあります。木造の古民家を改修した、昭和に戻ったような古風な室内にはカフェもあり、ゆったり読書するのに最適です。

